

# 鳥取県後期高齢者医療広域連合

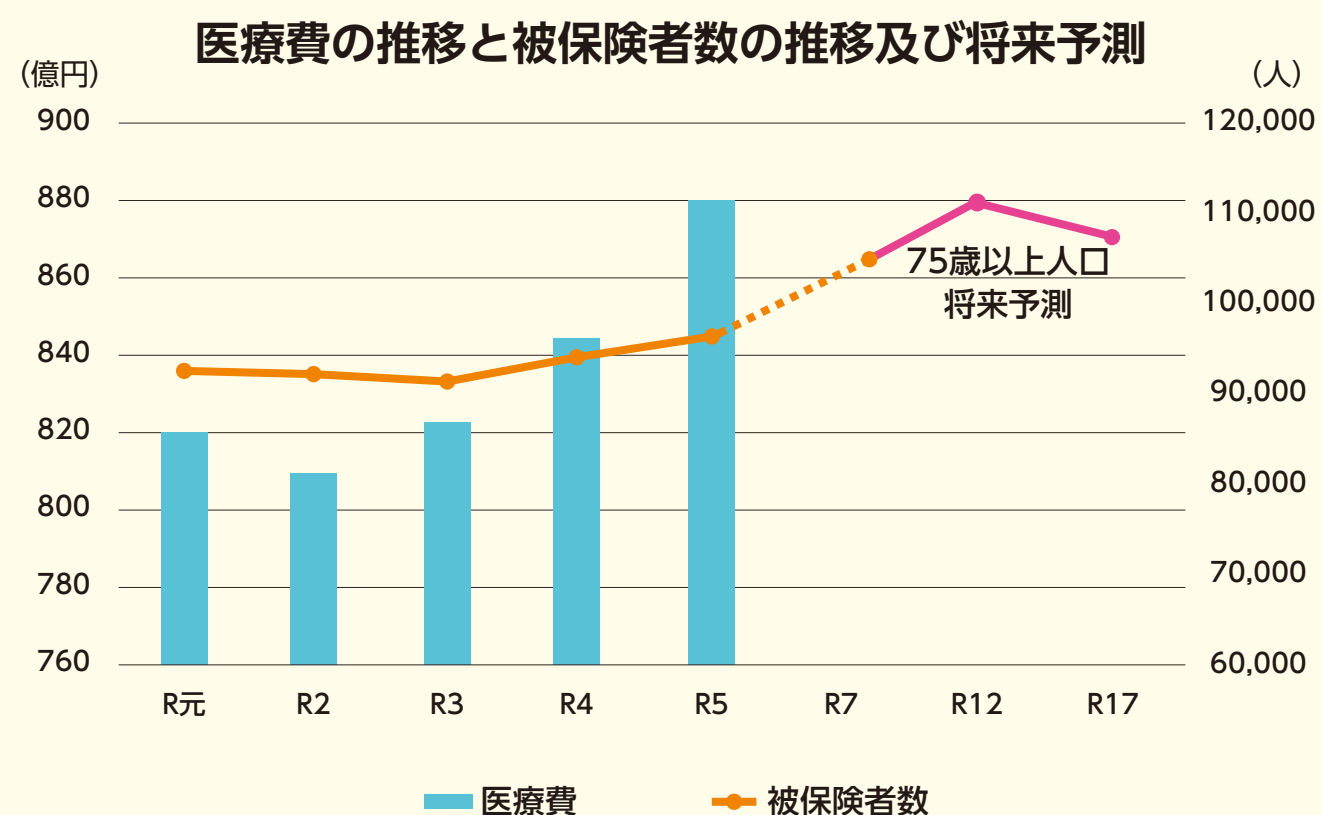
鳥取県後期高齢者医療広域連合(以下、広域連合)は、後期高齢者医療制度の事務を処理するため、鳥取県内のすべての市町村が共同で設立した特別地方公共団体です。制度の運営にあたり、広域連合は保険料の決定や医療給付等を行い、市町村は保険料の徴収や各種申請の受付等を行います。

被保険者(後期高齢者医療制度の対象者)は、①75歳以上の方全員、②65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた方です。

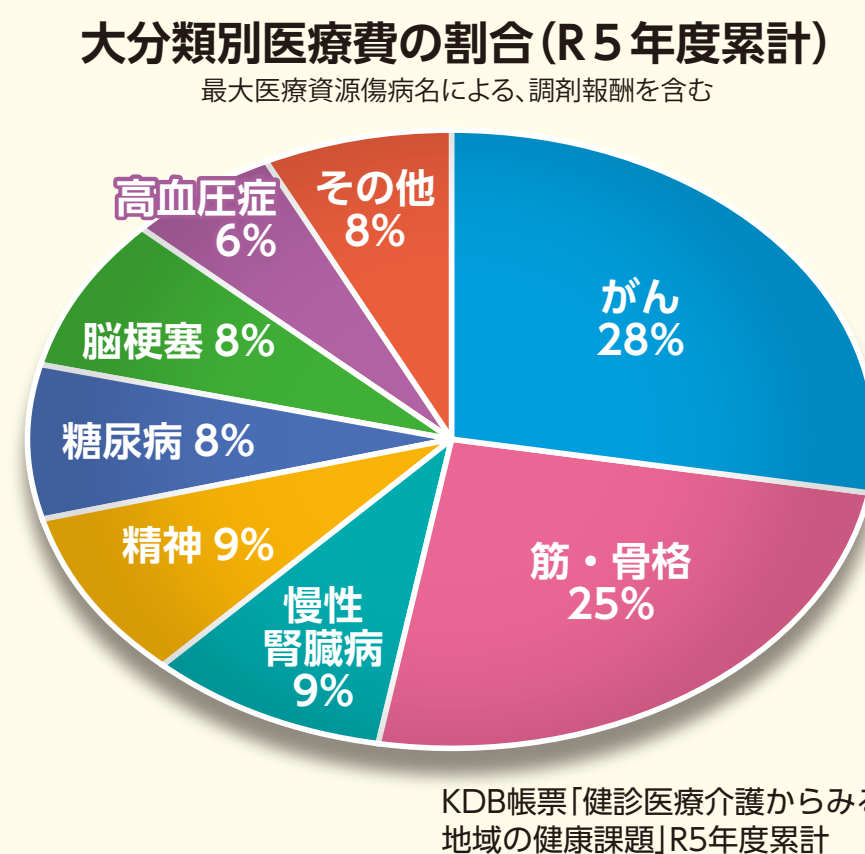
## 鳥取県後期高齢者医療広域連合第3期データヘルス計画(R6～11年度)を策定しました！

高齢者ができるだけ長く自立した生活を送れるよう、健康づくりのための支援を市町村と共に取り組み、健康寿命の延伸と生活の質の維持・向上を目指します。

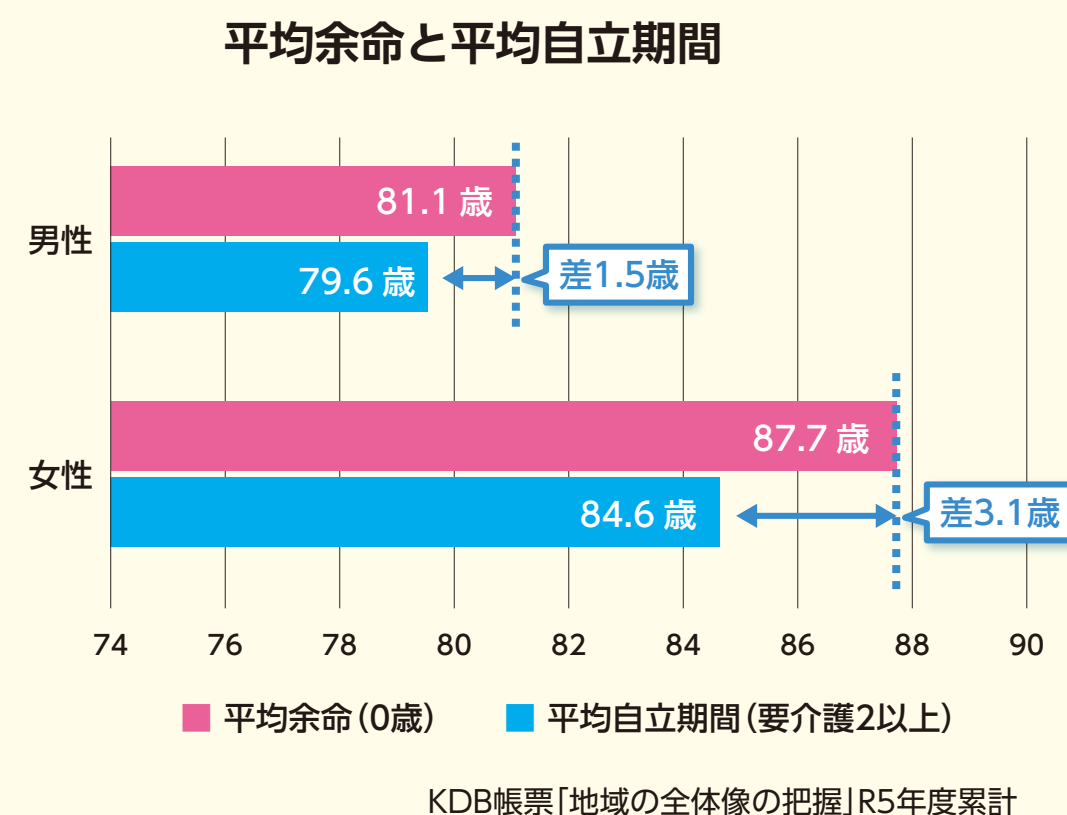
### 後期高齢者医療保険の現状



近年、被保険者数、医療費とも増加傾向にあり、令和7年(2025年)に「団塊の世代」が75歳以上に達することから、もうしばらくは増加が続くと予測されます。



疾患別医療費の割合は、「がん」が最も多く、ついで、「筋・骨格疾患」、「慢性腎臓病」の順になっています。「精神(おもに認知症など)」の割合は国に比べてやや高くなっています。



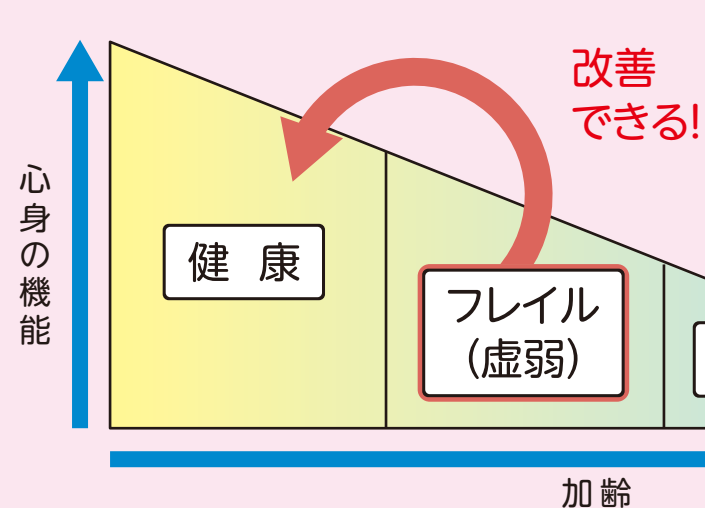
全国との差は縮小しつつあるため、国とほぼ同等の数値であり、改善傾向が見られます。平均余命と平均自立期間との差(不健康期間)を短くすることを目指します。

### 健康課題

- **高齢者健診・歯科健診の受診者が少ない。**  
受診率は、R4は健診22.1%、歯科健診2.7%であり、R11には健診27.3%、歯科健診3.7%を目標とします。
- **高血圧・高血糖などにより、生活習慣病が重症化した例が見られる。**  
人工透析導入者の増加が見られ、脳血管疾患標準化死亡比や要介護者の認知症有病率が高い傾向にあります。
- **オーラルフレイル(お口の機能低下)該当者が多い。**  
歯科健診受診者のうち、「かむ」「飲み込む」「話す」などの機能の低下が見られる人が4割と高い傾向にあります。オーラルフレイルは身体的フレイルにもつながっていきます。
- **運動習慣がない人、転倒経験(1年以内)がある人が多い。**  
骨整形疾患や身体的フレイル、要介護につながる可能性が高くなります。
- **通いの場の参加率が低い。**  
参加率はまだ高齢者の1割以下で社会交流のない高齢者がいることが考えられます。(厚生労働省調査より)

#### フレイルとは？

年齢とともに生じる心身の衰えのことで、健康状態と要介護状態の間にある「虚弱状態」を指します。フレイルは、普段の心がけで予防・改善することができます。



### 健康課題への対策

～生活習慣病重症化やフレイルにつながるリスクを減らしていきます～

- **高齢者健診・高齢者歯科健診の推進**  
健診時期をお知らせするなど、受診しやすい体制づくりを進めます。
- **高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に市町村と共に取り組んでいます。**
  - **高齢者に対する個別的支援**  
低栄養防止や、口腔機能低下防止、生活習慣病重症化予防、身体的フレイルなどについて、保健師や栄養士などが自宅等を訪問し、かかりつけ医や薬剤師などと連携して保健指導などの支援を行います。
  - **地域の通いの場等での集団支援**  
フレイルや健康に関するチェックを行い、保健師や栄養士、理学療法士などが、運動・口腔・栄養などのフレイル予防講座や健康相談などを実施します。
- **医療費適正化への取り組み**
  - **医療費のお知らせ(医療費通知)**  
医療機関等で受けた診療内容を確認し、健康や医療への理解を深めていただくために発行しています。
  - **ジェネリック医薬品の推進**  
ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の目安をお知らせしたり、ジェネリック医薬品希望シールを配布したりしています。
  - **多剤、重複服用のお知らせ(服薬情報通知)**  
複数の病気により処方薬の種類が増えると、重複や飲み合わせの問題が起こることがあるため、多剤服用者等へお知らせを送付しています。

- \*年に1度はフレイルチェックも兼ねて、健診及び歯科健診を受けましょう(持病の通院をしても必要です)。
- \*バランスの良い食事、運動習慣、口腔ケアの取り組みを続けましょう。
- \*社会参加(通いの場や各種保健福祉事業の活用、自主的なサークル活動など)に取り組みましょう。